



DIST.NO.2530

ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEEKLY REPORT

2013-14 年度 福島ロータリークラブ会報 vol.44

■例会日／2014年5月29日(木) ■開会点鐘／12:30
■会 場／ホテル「辰巳屋」8F

■ 6月は「ロータリー親睦活動月間」です

福島ロータリークラブホームページ
<http://www.f-rotary.com/>

【事務所】福島市栄町5の1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日12:30 【例会場】ホテル辰巳屋 8F
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp



第44回 会長挨拶

2013-14年度 会長
紺野 晴郎

5月24日(土)、中国四川料理石林において福島ロータリークラブ青少年奉仕会議(新世代会議)をインターアクトクラブとロータリーアクトクラブそして福島ロータリークラブ会員合わせ約60人の参加者にて開催いたしました。

青少年奉仕会議は学生生徒が自分の意見や考えを述べ、自分のやりたい事、関わっている事、役立っている事を再認識させ、奉仕活動へのアプローチを自然に自ら促す場であります。会長挨拶の中で、ロータリーの奉仕活動について(東日本大震災支援義援金・フィリピン台風支援事業・ポリオ撲滅運動・世界への水事業・識字率向上事業・米山財団補助金による留学生支援事業など)紹介しました。

また、講演会では元福島県警察本部刑事部長黒津康司福島学院大学准教授による「薬物の恐ろしさ」を講演頂きました。薬物犯罪は「人生をなくす」と芸能人による事件などもあり、タイムリーで説得力のある講演でした。先生方からは「当たり前前の事を当たり前前に教える場がないので有意義な講演会でした」と称賛され感謝されました。

懇談会の中では社会福祉法人桜桃会理事長小林仁一会員や福島駅長狩野安則会員の話、そして、佐藤英典パスト会長の締めめの挨拶では、マリキナマランダイ小学校への支援事業の難しさや、教育の機会提供による貧困社会からの脱却を目指す奉仕活動の意義について話され、出席者は深く聞き入っておりました。

今日は5月17日(土)に開催された「2014-15年度国際ロータリー第2530地区研修・協議会」の報告会です。参加次期役員の皆様に報告して頂きます。

例会 次 第

「地区研修・協議会」報告

進行/次期幹事 坪井 大雄 会員

開会点鐘 紺野晴郎 会長
ロータリー・ソング
「福島ロータリークラブの歌」
ソングリーダー 菅野 晋 会員



会長挨拶

紺野晴郎 会長

一 食 事

幹事報告

日比野恒夫 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会
ニコニコBOX担当

八巻恵一 委員

◎本日のプログラム

開会点鐘

紺野晴郎 会長

例会プログラムのご案内

- 6月12日(木) 12:30～「辰巳屋」
 - ・東京交歓会報告
 - ・新会員スピーチ 今井 康会員(JRA福島競馬場場長)
 - *プログラム紹介 *血圧測定 *「友」6月号紹介
- 6月19日(木) 12:30～「辰巳屋」
 - ・クラブ協議会「次年度体制に向けて」
- 6月26日(木) 18:30～「辰巳屋」
 - ・今年度最終例会「夜間例会」

幹 事 報 告 日比野恒夫 幹事



例会変更のお知らせ

●福島東RC、30日(金)の例会は、夜間例会のため18時30分よりサンパレスに変更しております。

その他のお知らせ

- 本日18時30分より石林にて丹治年度の新理事会が開催されますのでお知らせ致します。
- 次週6月5日(木)18時30分より辰巳屋にて新旧合同の理事会開催になりますので宜しくお願い致します。





2014-15年度 RI第2530地区 地区研修・協議会報告



司会進行／次期幹事
坪井 大雄 会員

坪井大雄次期幹事の進行により、各委員会から報告いただきました。

会長部会報告



会長エレクト
丹治 正博 会員

2014-24年度国際ロータリーテーマ 「Light Up Rotary (ロータリーに輝きを)」

野崎 潔ガバナー (福島北 RC) の地区目標
「ロータリーの心を大切に クラブを活性化させよう」

★重点目標

- 1、クラブ基盤の強化 会員増強 (純増各クラブ1名)
クラブはロータリーの核心 出席率の向上も目指す
- 2、ロータリー情報の共有と強化
新会員オリエンテーションの充実と既存会員のロータリー研修セミナーの実施
- 3、効果的ロータリークラブ実現の方策
クラブのビジョン、戦略計画の策定 (継続性の維持)
- 4、ロータリーイメージと認知度の向上
地域社会への広報とマスコミとの懇談と対応
- 5、青少年養成に期待をこめて積極的サポート
インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交流の支援、第27回全国ローターアクト研修会を成功させよう
- 6、ロータリー財団プログラムへの参加と資金協力
DDFの効果的な活用と年次寄付年間一人150ドルの達成
- 7、米山記念奨学会への理解と協力
年間普通寄付金一人5,000円
特別寄付金一人10,000円の達成

次年度会長方針

「和の心で日々燭しよくを掲げよう」

私は常々、日本人は自らの文化を見つめ直し、日本人の誇りと品格を取り戻さねば、この混沌とした社会は決して良くならないと感じております。ロータリーはアメリカで誕生しましたが、今やグローバル化が進み、地域に応じたロータリー活動、日本には日本のロータリー活動があるべきと考えます。

私のロータリー歴は決して長くはありませんが、ポールハリスがロータリーを作ったのは「ただ寂しかったから」との言い伝えが強く心に残っています。人間は一人では生きていけません。家族があつて、そして良い人に巡り会うこと、苦勞を買ってでもすることで人間は成長します。

RI会長のテーマを受けて、私は「和」の心 (日本人の心、和を尊ぶ心) をもって、クラブの中で寂しい思いをしている会員はいないか、家庭で、自分の職場で、そして社会において自らの職業を通じて燭を掲げる (暗いところを照らして、辺りを輝かせる) 存在となること、「和の心で日々燭を掲げよう」を私の年度の会長テーマと致したいと思ひます。このテーマのもと、以下の2点を私の重点目標と致します。

- 例会は、会員が交流する場、知的刺激を得る場、ロータリーの基礎知識を身につける場として秩序ある例会を開催する。
- 品格あるクラブを目指す。

クラブ奉仕委員会報告



広報マルチメディア・雑誌小委員会
佐藤 武彦 小委員長
(文責:幡 研一委員長)

クラブ奉仕とは「クラブの機能を充実させるために」という、クラブ奉仕の目的を実現するために活動することであり、国際ロータリーのテーマ「Light Up Rotary (ロータリーに輝きを)」を指針として、クラブを活性化させるために以下の3点を念頭に活動していくものとします。(野崎ガバナーエレクトの7つの目標のうちの3つがクラブ奉仕に関するもの)

- ①クラブ基盤の強化、会員増強 (純増各クラブ1名以上)
- ②ロータリー情報の共有と強化
- ③ロータリーイメージと認知度の向上

また、ロータリーはクラブに始まりクラブに終わります。クラブがロータリー活動の原点、感動のある例会を開催し、出席率の向上を目指していきます。その一環として、7月26日「クラブ奉仕委員会セミナー、年度後半「クラブ活性化セミナー」を予定しています。

地区クラブ奉仕委員会の役割

地区クラブ奉仕委員会は、地区内クラブの活動を支援するものとし、「参加して感動するロータリー」を目標として、ロータリーの感動を実感できるようなクラブ運営を支援していきます。

さらにクラブ奉仕の目標実現のため、拡大、会員増強、クラブ活性化支援・広報、ロータリー情報の各委員会の連携を図ってまいります。

▶地区研修・協議会の成果をクラブに

まとめとして次期クラブ奉仕委員会大塚修一副委員長 (会津若松城南 RC) より

1) 会員増強

- 世界のロータリアン 130 万人へ
- 日本のロータリアン 10 万人へ
- 第 2530 地区会員 3% 増

2) 増強のポイント

- 女性会員の勧誘
- 20 代～30 代の若い会員の勧誘
- 退会防止 についてお話がありました。

職業奉仕委員会報告



職業奉仕委員会
箱岩 偉 委員長

職業奉仕委員会からは、以下の 2 点をご報告します。

①活動計画について

「職業奉仕の原理を大切にし、かつ実践して、クラブを活性化し、ロータリーを輝かせよう！」のロータリーのスローガンのもと 1 年間活動する旨説明がありました。また、平成 26 年 10 月と、平成 27 年 4 月の 2 回、地区職業奉仕委員会セミナーを開催する旨報告がありました。さらに、「ロータリーの行動規範」、「四つのテスト」、「職業宣言」、そして「職業奉仕 12 章」を随時唱和し、実践するよう奨励、鼓舞することの報告がありました。

②第 2530 地区 篠木勝司副委員長より

「職業奉仕の原点と実践」と言うテーマでお話があり、自身の経験や体験から、「合併会社設立と 4 つのテスト」と題した資料をもとにお話がありました。企業経営と 4 つのテストを照らし合わせた内容で、大変分かり易いものでした。お時間のある方は、是非資料をご覧になることをお勧め致します。

社会奉仕委員会報告



社会奉仕委員会
金子與志人 委員長

次期地区社会奉仕委員会委員と共に社会奉仕部会に出席しました。委員長より、地区の委員会としては各クラブの活動を支援することであり、単一クラブでは成しえない活動を地区として応援することである、との話がありました。主な事業は以下の通りです。

- エコキャップ回収活動支援
- ロータリー猪苗代湖水環境協議会へ支援協力。5 年一区切りだが 6 年目を以降も支援協力する。水草除去等で水質が良くなり、「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水環境研究協議会」が日本河川協会の日本水大賞環境大臣賞を受賞しました。当クラブは 9 月に清掃を予定しております。
- 「会津の里にこらんしょ」事業の拡大版「ふくしまにこらんしょ」事業を各クラブと協力し実施する。風評被害の払拭含め福島復興に県外からの来福を促進。
- 社会奉仕委員会研修セミナー…8 月 23 日（土）12 ～ 15 時（南東北総合卸センター組合会館）

青少年奉仕委員会報告



青少年奉仕委員会
森岡 幸江 委員長

次年度は菅野晋会員が、地区ローターアクト委員会委員となっております。

野崎年度（2014-15 年度）より、2013 年の RI 規程審議会において、これまでの新世代奉仕から「青少年奉仕」と名称が変更され、地区組織も同様に「青少年奉仕委」と改められました。また、これまでのインターアクトクラブ委員会、ローターアクトクラブ委員会、ライラ（RYLA）委員会の 3 委員会から新たに「青少年交換委員会」が加わり 4 委員会での運営となります。

○青少年奉仕委員会の基本方針

- 委員会の連携強化
- 地区委員会の基本スタンス
 - ※ 地区内 66 クラブに青少年奉仕委員会への理解と事業推進サポート
 - ※ IAC、RAC への事業支援及び未設置 RC への提唱クラブサポート
 - ※ ライラ研修会へ参加しやすいプログラム構成
 - ※ 青少年交換派遣、受け入れ学生・クラブへのサポート

○重点活動

- IAC、RAC 提唱クラブ創設
- 「第 27 回全国ローターアクト研修会」福島大会の開催…2015 年 3 月 21・22 日（於：郡山）1000 名の参加

ロータリー財団委員会報告



ロータリー財団委員会
安藤健次郎 委員長

地区研修・協議会はセッションⅠ・Ⅱで開催、セッションⅠではロータリー財団の次期ロータリー財団委員会委員長；平井義郎委員長より基本方針について発表と説明がありました。

◎2014-15 年度；財団の目標として

- a. ポリオを撲滅するために。今こそ目標を達成しよう。
- b. 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
- c. 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金のプログラムの発展を確かなものとする。
- d. ロータリー平和センター・プログラムの推進と公報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
- e. ロータリー財団の未来の健全性は自分達に掛かっていることを強調すると。

◎2014-15 年度・日本の財団寄付目標と地区の目標について説明がありました。その中で地区の目標として

- ①年次寄付目標／一人 \$150
- ②年次寄付ゼロ (0) クラブを無くしましょう。



2530 地区では年次基金寄付ゼロ (0) クラブが17 クラブあります (2014.4.21 現在)。

年次基金; 会員数2,255 名 目標\$105,740 達成率150.87% 一人当たり\$70.74 累計\$159,529.41

③ベネファクター／1 クラブ1 名

④ポール・ハリス・ソサエティーへの加入推薦

(毎年100 米\$ を寄付)

⑤大口寄付者 (メジャードナー) への加入推薦

⑥財団委員会を活用するために地区社会奉仕委員会と地区国際奉仕委員会の連携を図って行く予定です。

⑦奨学生; 審査の結果2 名が合格。

◎RI 会長賞におけるクラブ目標

(ロータリーに輝きを; 奉仕)

【必須項目として】

少なくとも一つのロータリー重点分野に関連する、地元あるいは海外での奉仕プロジェクトに参加する。(平和と紛争予防・紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会発展)

【ロータリークラブ・セントラル 目標の入力】

クラブの会員や寄付の目標は、それぞれの年度のクラブ会長・幹事がロータリークラブ・セントラルから入力できます。寄付目標の入力方法は財団室ニュース3 月号を参照ください。国際大会で発表される次年度の目標に反映されるよう5 月1 日までに入力していただきますようお願いいたします。

その他〈ポール・ハリス・ソサエティーについて〉〈補助金委員会より、補助金承認、報告書の提出について〉〈資金推進委員会より新年度の寄付目標及び認証について〉の報告がありました。

引き続きセッションⅡでは、〈ポリオ撲滅の協力とロータリーカードについて〉〈教育的プロジェクト委員会より財団奨学生について〉〈資金管理委員会より補助金送金先及び残金の送金先について〉〈補助金活用の事例として、喜多方中央ロータリークラブと福島中央ロータリークラブの事例発表〉があり、地区研修・協議会の閉幕となりました。



「県北第一分区薬物乱用防止キャンペーン」が開催されました。

6 月1 日 (日) 13:30 ~ 14:30、中合ツイン広場にて「県北第一分区薬物乱用防止キャンペーン」が開催されました。当クラブより紺野晴郎会長、日比野恒夫幹事、小林仁一社会奉仕副委員長、増子 勉社会奉仕委員、坪井大雄次期幹事、事務局大関の計6 名が参加しました。

ニコニコBOX 報告



八巻恵一 委員

▶紺野 晴郎 会長

青少年奉仕会議の後、噂のお店探検に佐藤武彦委員長の地元保原町で二次会を開きました。これからは噂に惑わされないように心がけたいと思います。半年遅かったそうです。

▶日比野恒夫 幹事

先週の土曜日の分区ボウリング大会に行ってきました。私は146 点-110 点でした。佐藤英典先生は145 点-146 点と素晴らしかったです。紺野会長も200 点-200 点と、まるでプロボーラーでした。

▶氏川 守義 会員

先週、福島職能開発研究会で茂田会員に講師として「老いについて」の講演をして頂きました。細胞の老化、人の体と心の老化、そして人の死に臨む心など理学、医学、哲学と広範にわたるお話に市内の中学校校長会の方々の感動を呼びました。

▶加藤 義朋 会員

地区研修・協議会に出席の皆様お疲れ様でした。

▶後藤 洋伸 会員

「今年は冷夏」という長期予報で、外での仕事が楽かなと

本日のニコニコBOX 投入額 22 件 ¥44,000 累計 ¥2,231,000

思っていました、早くも梅雨入り前に夏が来たみたいです。体調管理が大変です。皆様も気をつけてください。

▶相良 元章 会員

本日、市内庭坂で弊社がコーディネートしたメガソーラー発電所が充電を開始致しました。地域の環境に少しでも貢献出来れば幸いです。

▶茂田 士郎 会員

2010 年の地区協議会が行われた日に、福島に大雪が降りました。会長、幹事の予定だった私と森岡会員は阿久津PG の車で、飯坂の会場まで乗せて頂いた事を思い出します。

▶丹治 正博 会員

26 日に長女が結婚致しました。東京杉並の大宮八幡宮に女性神職として4 年ほどご奉仕致し、このほど同じ職場の方とご縁があり、婿養子として迎えることになりました。大変有りがたく思っております。

▶幡 研一 会員

地区研修・協議会で勉強してきました。本日の空には入道雲が出ておりました。

他に

安藤健次郎/海野 卓哉/浦部 博/加納 武志/金子與志人/白岩 康夫/高橋 聡/田沼紀美子/坪井 大雄
増子 勉/牧野 吉晃/森岡 幸江/八巻 恵一